



メンテ技術など紹介

大成ロテックがベト

ナムでワークショップ

大成ロテックは、ベトナム・ハノイ市でベトナム交通運輸大学との共催により舗装技術に関するワークショップを開いた。写真。100人以上が来場したほか、同大学やベトナム道路総局、在ベトナム日本大使館、国土交通省、大成建設から多くの来賓が出席した。

冒頭、あいさつした松山英吉代表取締役専務執行役員は「このワークショップを通

じ、ベトナム、日本両国間の情報交換や技術、人的交流を進めて末永くベトナムのさらなる発展に貢献していきたい」と述べた。

その後、同大学がベトナム道路舗装の現状と舗装マネジメントの取り組みを説明。続いて、同社が日本の舗装マネジメントの現状や同社開発の「STAMPER II」、撮影した動画から静止画像を切り出す機能を組み合わせた路面性状評価システムを紹介した。また、日本や同社保有の舗装の維持メンテナンス技術、日本のプラント再生技術なども説明した。

また、STAMPER IIによるIRI測定デモンストラーションが行われ、参加者はハノイ市内を走行する測定車に乗車する体験をした。